

令和 4年度 ( 3年度決算分 ) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	介護保険課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2326
	基本事業	介護保険サービスの充実		事業実施主体	市
	事務事業	介護保険補助金等事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	介護サービスを利用する(している)高齢者の安心や安全を確保するため、利用者及び介護サービス事業者に対し助成事業を行う。			
年度概要	介護保険利用者負担軽減事業費 地域密着型サービス施設等整備事業費補助金 地域密着型サービス施設等開設準備事業費補助金			
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務有)	

【事業の目的】

対象(何を)	介護サービスの利用者及び介護サービス事業者
意図(どのような状態にしたいか)	介護サービス利用者が安心・安全に暮らせるようにする。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
社会福祉法人等への利用者負担減額の協力依頼件数	件	7	7	7	7	7

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
成果指標	社会福祉法人等利用者負担減額の対象となる登録率	%	目標値	96	96	96	100	100
			実績値	89	91	88		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 引き続き対象事業所に対し協力依頼を行うことにより、登録事業所数は前年度から増えたものの、対象事業所の総数も増えたため、目標は達成できなかった。 (目標達成度)							(達成度) 91.7% 32点
	成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)						

【コストの推移】

指標名	単位	平成 3年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(予算)
トータルコスト	[円]	58,503	110,018	170,410	26,566
(事業費)	[円]	43,327	95,054	155,310	11,466
(職員人件費)	[円]	15,176	14,964	15,100	15,100

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

第 8 期高松市高齢者保健福祉計画に基づき施設整備事業を実施した。また、離島での介護サービス提供事業者に補助金を交付したほか、社会福祉法人等における介護サービス利用者のうち、生活困難者に対して利用額を軽減することにより、介護サービスを利用する高齢者の安心と安全を確保することができた。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

引き続き、助成の対象と成り得るもの、又は希望するものには、本市から直接若しくは介護サービス事業者を通じて周知を図り適正に事業を実施していく。

令和 4年度 ( 3年度決算分 ) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	地域共生社会推進室
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2372
	基本事業	介護保険サービスの充実		事業実施主体	市
	事務事業	生活支援・介護予防サービス提供体制構築事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	支援が必要な高齢者のニーズに対応するため、国のガイドラインに基づき、サービスの提供体制の構築に向けたコーディネーター機能を果たす「生活支援コーディネーター」の設置やコーディネーターとサービス提供主体が参画する「協議体」での情報共有・連携強化等を通して、多様な主体による様々なサービスの提供体制を構築する。 また、市民等への周知・広報を行う。				
年度概要	協議体開催(2回) 第2層生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)配置 市民等への周知・広報				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	1-	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務有)

【事業の目的】

対象(何を)	高松市内在住高齢者
意図(どのような状態にしたいか)	多様な主体による様々なサービスが提供される体制を構築し、高齢者が、介護や支援が必要な状態になっても、住み慣れた地域社会で安心して安全に暮らすことができるようにする。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
協議体の会議開催回数	回	0	1	1	2	2

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
住民主体によるサービスを提供している地区数	地区	目標値	15	22	37	40	40
		実績値	25	26	27		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
住民主体によるサービスの提供は、平成28年10月から実施し、令和3年度には合計で27地区(訪問25か所、通所7か所)となった。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域福祉ネットワーク会議や、通所型サービスの提供が予定どおり行えず、新たなサービスの提供にも影響した。							
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							

【コストの推移】

指標名	単位	平成3年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(予算)
トータルコスト	[円]	71,282	64,887	67,704	67,640
(事業費)	[円]	56,485	56,956	57,436	57,372
(職員人件費)	[円]	14,797	7,931	10,268	10,268

【評価】

評価ランク (A~D)	<b>B</b>	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	<b>継続</b>
-------------	----------	---------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

住民主体によるサービスの提供は平成28年10月から実施し、令和3年度には合計で27地区(訪問25か所、通所7か所)となった。今後は、地域福祉ネットワーク会議設置済みの43地区を中心に、地域住民による地域の課題解決に向けた取組を推進するとともに、未設置の1地区についても、多方面からアプローチして、地域福祉ネットワーク会議の設置を促していく必要がある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

多様な主体により提供されるサービスの提供事業者が不足していることから、その参入の促進策を検討する。  
また、多様な主体により提供されるサービスの利用促進を図るとともに、住民主体サービスの提供団体を増やし、地域で高齢者を支える体制づくりを促進する。